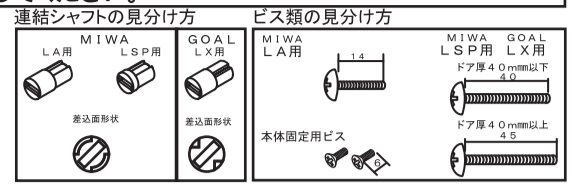


作業上の注意

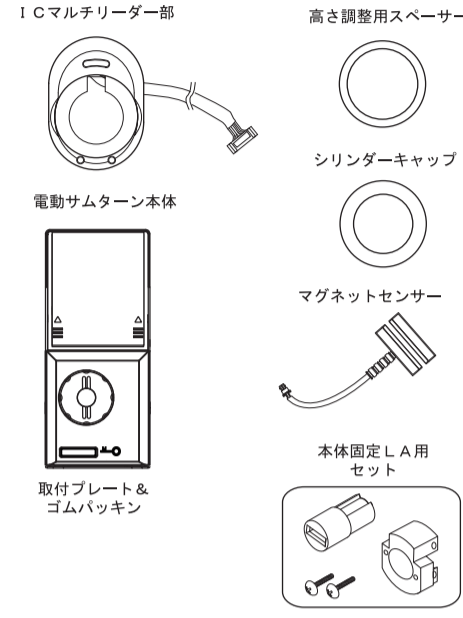
当社製品は、10万回以上の動作試験をおこなっておりますが、取付られる扉の建付けが悪い場合、駆動ユニットの耐久性を著しく損ねる場合があります。扉がクローザーなどで自然に閉まった状態で、鍵のデットボルトがスムーズに施開錠できるか確認してください。...

取付準備

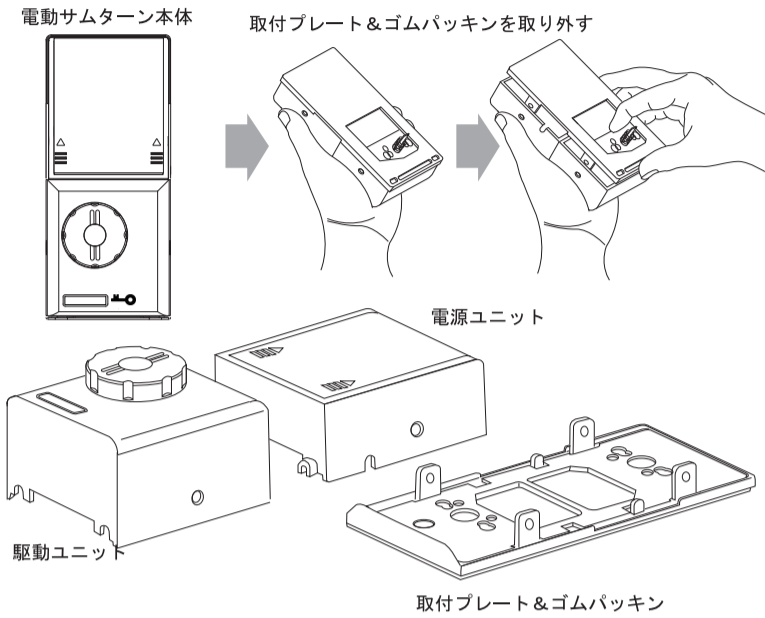
- 作業中ドアが閉まらないようにドアストッパーや障害物などで必ず固定して下さい。
●電動ドライバー等は、ネジの締めすぎやネジ山をつぶす原因になりますので使用しないでください。
●ネジや小さな部品を無くさないよう、回りを整理整頓した上で作業を始めてください。
●取付マニュアル及び、取扱説明書をよく読んでから作業を始めてください。
●取り外したサムターンは現状復帰や緊急対応するときに必要です。無くさないよう大切に保管してください。
●取付の前に現在の鍵状態を確認してください。...



箱から必要な製品・部品を用意



電動サムターン本体を各パーツに分解



スペーサーの準備

Diagram of key cylinder ring adjustment and a table for spacer preparation based on gap width.

出幅調整

Diagram for backset adjustment with a table of backset lengths and their corresponding spacer counts.

ICマルチリーダーのドアへの取付

注意！：キーシリンダーの下穴は鋭いエッジの状態となっています。ヤスリで十分エッジを取り、ケーブルを痛めないようにしてください。

シリンダーとサムターンを外す

Step 1 and 2: Removing the key case front plate and the thumb turn/cylinder.

ICマルチリーダーのケーブルを通す

Step 3 and 4: Routing the IC multi-reader cable through the key case and handle.

固定する

Step 5 and 6: Securing the multi-reader and spacers to the door.

電動サムターン本体の取付

注意！：ケーブルは慎重に取り扱ってください。傷つけたり、鋭角に折り曲げたり、挟んでつぶしたりすると、電圧異常や漏電により、誤動作、登録・認証エラーなど正しく作動しない場合があります。

固定金具の取付

Step 1 and 2: Attaching the mounting bracket and securing the cable.

取付プレートの調整

Diagram showing the adjustment of the mounting plate for different backset lengths.

取付プレートの取付

Step 3, 4, and 5: Mounting the plate and connecting the shaft.

センサーの固定

Step 6 and 7: Fixing the sensor to the door.

電源ユニット・駆動ユニットの取付

Step 8, 9, 10, 11, and 12: Connecting the power and motor units.

ドア開き方向の設定

Step 13: Setting the door opening direction using the dip switch.

ドア枠センサー取付

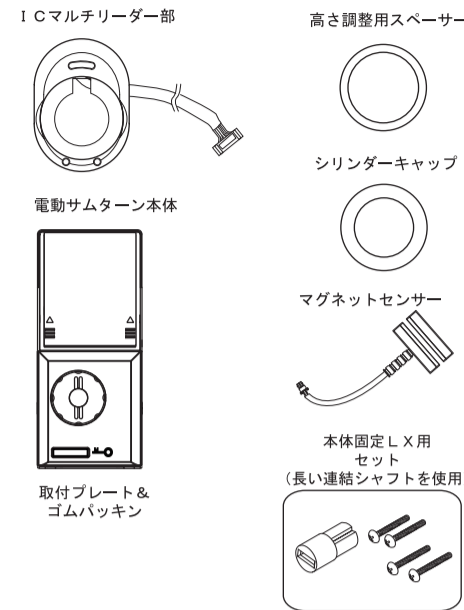
Step 14: Attaching the door frame sensor.

キャップの取付

Step 15: Attaching the key cylinder cap and dip switch cover.

取付準備

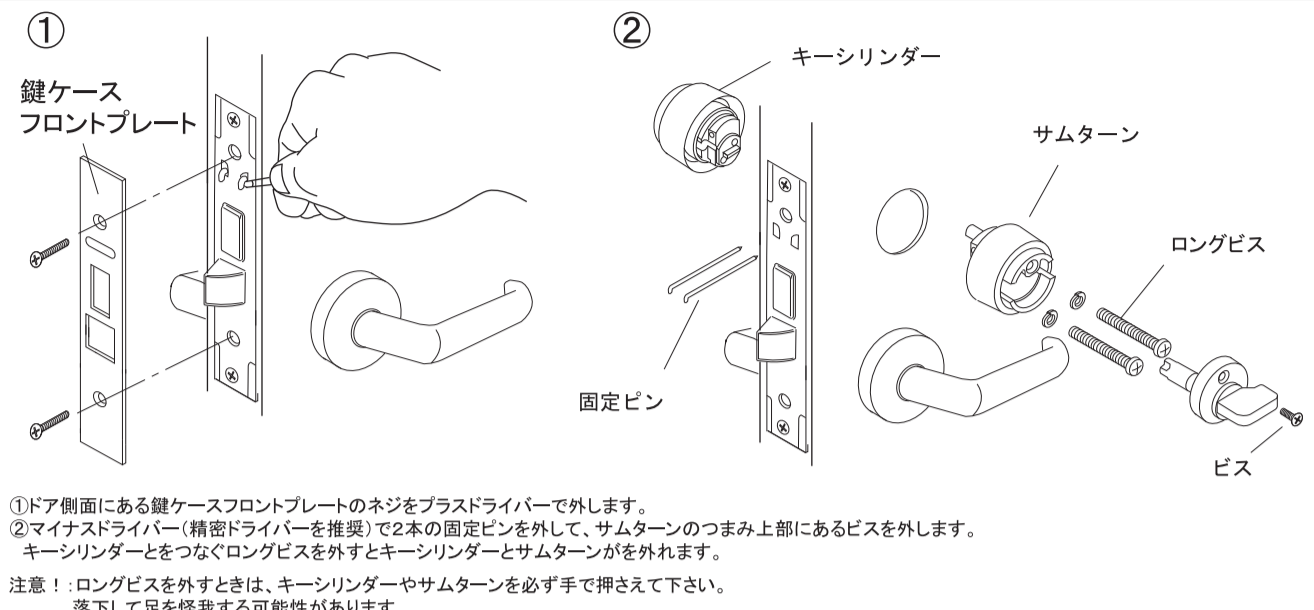
箱から必要な製品・部品を用意



以降の取付準備は裏面のMIWA LAタイプを参照

ICマルチリーダーのドアへの取付

キーシリンダーとサムターンを外す



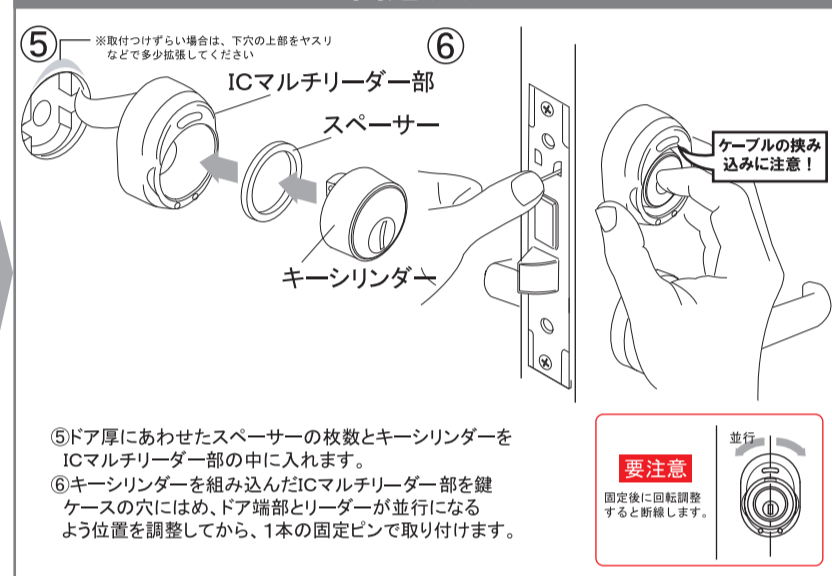
① ドア側面にある鍵ケースフロントプレートのネジをプラスドライバーで外します。
 ② マイナスドライバー(精密ドライバーを推奨)で2本の固定ピンを外して、サムターンのつまみ上部にあるビスを外します。キーシリンダーとつなぐロングビスを外すとキーシリンダーとサムターンが外れます。
 注意! : ロングビスを外すときは、キーシリンダーやサムターンを必ず手で押さえて下さい。落下して足を怪我する可能性があります。

ICマルチリーダーのケーブルを通す



③ ドアハンドルを外して、鍵ケースの固定ネジを外し、鍵ケースを引き出します。但し、キーシリンダーを取り外した穴にケーブルを通せる隙間があれば、鍵ケースを外す必要はありません。
 ※ドアハンドルの取り外し方が不明の場合は、ハンドルメーカーにお尋ね下さい。
 ④ ICマルチリーダー部のケーブルをキーシリンダーの穴を通してサムターン側の穴へ貫通させ鍵ケースとハンドルを元に戻します。
 ※ケーブル保護のため キーとサムターン穴上部の内から外に養生テープやビニールテープを貼ってください

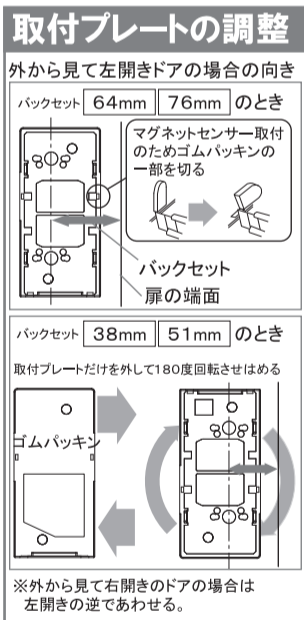
固定する



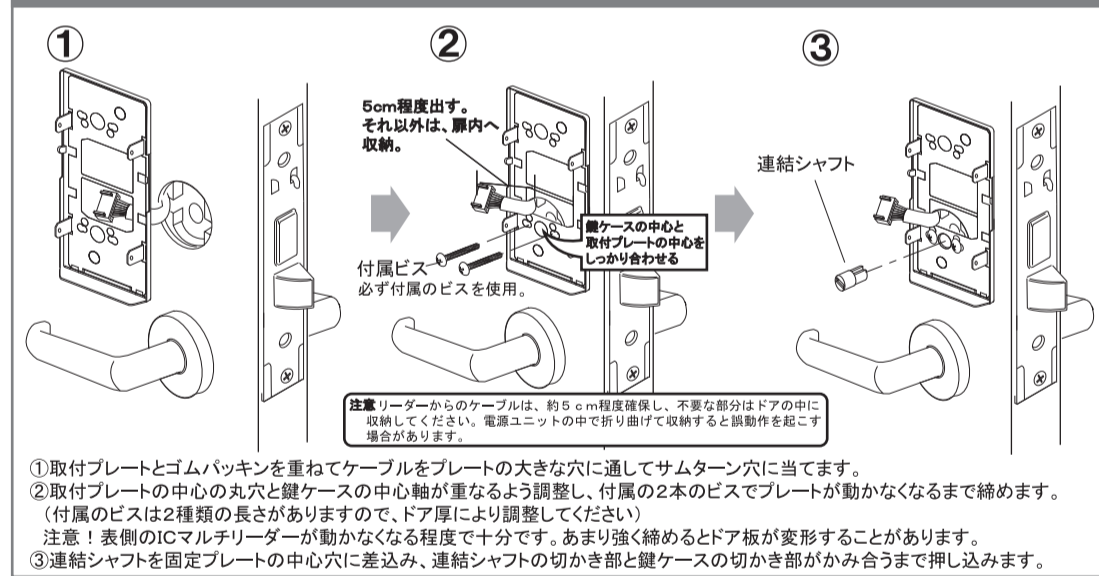
⑤ ドア厚にあわせてスペーサーの枚数とキーシリンダーをICマルチリーダー部の中に入れます。
 ⑥ キーシリンダーを組み込んだICマルチリーダー部を鍵ケースの穴にはめ、ドア端部とリーダーが並行になるよう位置を調整してから、1本の固定ピンで取り付けます。

要注意
 固定後に回転調整すると断線します。

電動サムターン本体の取付



取付プレートの取付



① 取付プレートとゴムパッキンを重ねてケーブルをプレートの大きな穴に通してサムターン穴に当てます。
 ② 取付プレートの中心の丸穴と鍵ケースの中心軸が重なるよう調整し、付属の2本のビスでプレートが動かなくなるまで締めます。(付属のビスは2種類の長さがありますので、ドア厚により調整してください)
 注意! 表側のICマルチリーダーが動かなくなる程度で十分です。あまり強く締めるとドア板が変形することがあります。
 ③ 連結シャフトを固定プレートの中心穴に差し込み、連結シャフトの切かき部と鍵ケースの切かき部がかみ合うまで押し込みます。

以降の手順は裏面のMIWA LAタイプを参照

cylinder IC lock 3

取付後の動作について

MIWA GOAL 共通

重要!

●電池セットしてからの初期動作について

LEDセンサーにタッチするだけで動作します。

- IC登録をするまでは、オートロックによる締め出しを防止するプログラムが働きます。その為、ICマルチリーダーのタッチセンサーに触れるだけで、施錠動作をしますが、異常ではありません。IC登録後は、通常機能のプログラムが自動的に立ち上がります。

●カード登録前に不正動作が起きた場合

- カードを登録する前に施錠状態でマグネットセンサーを剥がしたり落としたりすると警報音が鳴ります。その場合、本体を出荷前の状態に戻さないかぎり止めることはできません。本体の取付が完了したら、速やかにカード登録を実施してください。

※出荷前の状態に戻すときは、販売代理店や設置業者にお問い合わせください。

●開錠・施錠動作がスムーズでない場合

- 取付後、サムターンつまみや、Open/Closeボタン、ICでの開錠施錠動作を行ったときに、スムーズな開閉動作が行われなかった場合は、回転シャフトがキーシリンダーの一部に接触していることが考えられます。その場合は、駆動ユニットを取り外して、回転シャフトの5mm間隔で刻まれている線に合わせて折り、短くしてから再度取り付けを行ってください。
- 鋳造品の連結シャフトの角穴には、まれにバリが発生することがあり、回転不良の原因となる場合があります。連結シャフトのバリや回転シャフトのエッチをヤスリなどで処理してから、再度取付を行ってください。

●マグネットセンサーを付けなかった場合

- マグネットセンサーを本体取り付けなかったり、忘れたりした場合は正しく動作しません。必ずマグネットセンサーを装着してください。

●マルチリーダーが反応しない場合

- ICマルチリーダーに触れても反応しない場合は、配線ケーブルがキーシリンダーに挟まれたり、折れ曲がっている場合があります。コネクターの勘合を確認の上再度取り付けを行ってください。